


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役  
橋本 健一郎



7月の銅の概況及び8月の見通し (3)

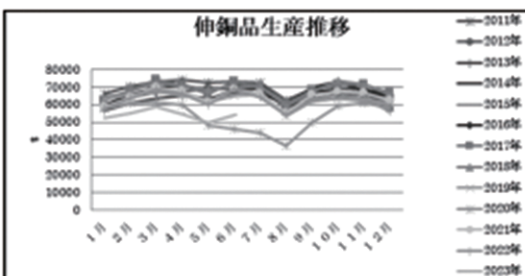
| 予想レンジ  |               |    |
|--------|---------------|----|
| LMEセツル | 8,000-9,000ドル | ●  |
| 建値     | 120万円-135万円   | ●  |
| 為替     | 140円-145円     | 円安 |

(1か月間TTM)

## ■前月の国内指標

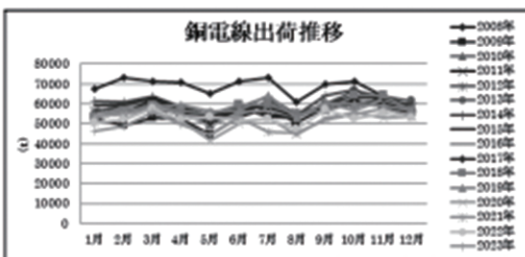
## 【伸銅品生産】

6月伸銅品生産量速報値は5万4,230トン、前年同月比20.9%減少し、2022年1月から18か月連続マイナスとなった。前月同様、銅線を除き、14品目中13品目が前年同月実績を下回った。



## 【日本電線工業会発の出荷速報 (推定)】

前年比-2.9%の5万3,700 t。  
内訳は国内が+3.1%、輸出が-80.1%。



## ■国内概況まとめ

## 【自動車】

生産動態統計によると6月の自動車生産台数は前年比+16.1%の72万7,097台。輸出は前年同月比+34.8%の38万4,938台。

## 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると7月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+18.3%の25万3,241台。

内訳は乗用車が+18.7%、貨物が+14.1%、バスが+109.5%。

## 【住宅着工戸数】

6月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比4.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比5.9%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は71,015戸。前年同月比4.8%減、先月の増加から再びの減少。

○新設住宅着工床面積は5,722千㎡。前年同月比5.1%減、5か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では811千戸。前月比5.9%減、先月の増加から再びの減少。

## 【伸銅品生産】

6月伸銅品生産量速報値は5万4,230トン、前年同月比20.9%減少し、2022年1月から18か月連続マイナスとなった。前月同様、銅線を除き、14品目中13品目が前年同月実績を下回った。

## 銅条

同比10ヶ月連続マイナス。半導体は車載向け以外の動きが鈍い。自動車の端子コネクタはだいぶ掃けてきているが、それでも部品自体の在庫が残っている。更に部品に加工する前の銅条自体の在庫がある。

## 黄銅棒

同比18ヶ月連続マイナス。住宅設備向けは、新規住宅着工件数がプラスに転じてきたが、新規住宅面積で見るとまだ前年同月実績を下回っている。ただ、非接触型水栓の需要が再び増加気味になってきたのが少し好材料である。

## 【電線】

前年比-2.9%の5万3,700 t。内訳は国内が+3.1%輸出が-80.1%。

## 銅【輸出】

電気銅は+21.6%の6万4,892 t。  
スクラップは-3.1%の3万54 t。

減摩合金・各種ハンダ  
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

**銅【輸入】**

電気銅は-37.3%の444 t。  
スクラップは-36.4%の8,549 t。

**【見通し】****【自動車】**

6月の自動車生産が+16.1%。7月国内販売台数が前年比+18.3%。6か月連続で生産、販売共に回復の兆しあり、今後に期待。

**【伸銅品生産】**

6月伸銅品生産量速報値は5万4,230トン、前年同月比20.9%減少し、2022年1月から18か月連続マイナス。全体的に悪化しており回復のめどが立たない。

**【電線】**

前年比-2.9%の5万3,700 t。  
内訳は国内が+3.1%、輸出が-80.1%。  
自動車生産が堅調だがその他の減少大きく結果振るわず、今後に期待。

**【スクラップ景況予想】**

流通【一次問屋】今月銅建値が126万から125万と高値安定傾向だった。在庫は伸銅品生産減、発生減から在庫薄。需要面に関しては今月も自動車生産販売の回復から一定の需要は出るがスマホ、エアコン需要の回復が遅れているため需給は低位安定。

**【LME・為替予想】**

今月は以下の項目に左右される。①米FRB利上げ停止後の金融政策、②中国景気回復の動向。

①に関しては、7月0.25利上げ、9月は据え置きとの予想も多いが、FRBは柔軟に対応すると言っており、都度思惑に応じた策になるため極端な展開にはならないだろう。



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8  
電話 06-6649-0045 代表〒556-0011 工場 大阪市浪速区稻荷1-11-5  
電話 06-6561-7331~2

②に関しては、マーケットには中国景気対策期待はあるものの中々出てこないのが現状。今月も大胆な策が出る可能性は低い。

これらを踏まえた今月の銅価格は8,000-9,000ドル(セツル)との予想。

ドル円値は140円~145円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては120万-135万円程度と予測している。

(「7月の銅の概況及び8月の見通し」おわり)

非鉄金属全般・金属リサイクル  
新棒コロ・砲金・銅滓